

おおみち

第76号

平成23年(2011年)7月1日
滋賀県立安土城考古博物館



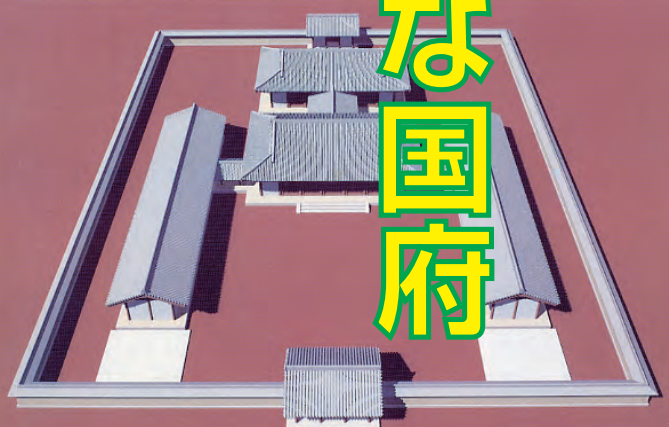
大 国 近 江 の 壮 麗 な 国 府

滋賀県立安土城考古博物館第四二回企画展
財団法人滋賀県文化財保護協会調査成果展

会期
平成23年7月16日(土)
～9月25日(日)



史跡近江国庁跡出土の飛雲文鬼瓦



近江国庁政庁復元 C・G (大上直樹氏復元制作)

開館時間：午前9時～午後5時 (ただし入館は午後4時30分まで)
休館日：月曜および7/19 (ただし7/18・8/15・9/19は開館)
入館料：大人450円(360円)・高大生250円(200円)
※小中生・障害のある方および県内在住の65歳以上の方は無料
※()内は20人以上の団体料金です

**安土城考古博物館第四二回企画展
財団法人滋賀県文化財保護協会調査成果展**

『大国近江の壮麗な国府』

古代律令政府は全国を六十ほどの国に分割しました。律令制下の国には、大・上・中・下国の等級があり、近江国は大国に位置づけられていました。

国府は国レベルの行政や司法、軍事、祭祀などを統括していた律令制地方支配の拠点です。近江国府はこれまでの調査で、その政庁中枢の構造があらかになり、さらに、巨大な倉庫群（惣山遺跡）、国司館とされる建物群（青江遺跡）、勢多駅家とされる建物群（堂ノ上遺跡）など、関連する諸施設が相次いで発見されるなど、そのスケールの大きさ・豊かさは目をみはらせるものがあります。

また近年、こうした他の国府に見られない壮麗な構造から、近江と関わりの深い、時の権力者藤原仲麻呂の関与をみる見解も有力になってきています。

今回の展覧会では、近年の発掘調査から得られた実物資料を中心に、模型や調査時の写真などから、改めて近江国府の実態に迫っていきたいと思います。

主な展示資料

○近江国府関連遺跡（近江国庁跡・近江国府跡・唐橋遺跡・堂ノ上遺跡・中路遺跡・青江遺跡・惣山遺跡・野畑遺跡・国昌寺跡・瀬田廃寺・石山国分遺跡）出土土器・瓦類（滋賀県教育委員会・大津市教育委員会・滋賀県立琵琶湖博物館蔵）○関津遺跡出土土器・木器・和同開珎（滋賀県教育委員会蔵）○木瓜原遺跡出土鉄鉾石（滋賀県教育委員会蔵）○野路小野山遺跡出土鉄鉾石（滋賀県教育委員会蔵）○矢倉口遺跡出土金針・鍔型・炉壁（草津市教育委員会蔵）○手原遺跡出土木簡（粟東市教育委員会蔵）○服部遺跡出土銅印（守山

市教育委員会蔵）○下々塚遺跡出土墨書人面土器（野洲市教育委員会蔵）○竹ヶ鼻廃寺出土銅匙（彦根市教育委員会蔵）○鴨遺跡出土木製品（高島歴史民俗資料館蔵）

関連行事等

*シンポジウム

「大国近江の壮麗な国府」

日時 八月七日(日) 一三時～一六時三〇分
場所 当館セミナールーム

内容

基調講演「発掘された古代律令国家と国府」

事例報告1 坂井 秀弥氏(奈良大学教授)

事例報告2 田中 久雄氏(大津市教育委員会)

コーディネーター

大沼 芳幸(安土城考古博物館)

***博物館講座**

◇第一回 七月一七日(日) 一三時三〇分

「平安時代の近江国府とその社会」

講師 佐藤泰弘氏(甲南大学教授)

◇第二回 七月三十一日(日) 一三時三〇分

「伊勢国府跡について」

講師 新田 剛氏(鈴鹿市考古博物館)

*テーマ展「近江国府をめぐる生産遺跡」

期間 七月一六日(土)～九月二五日(日)

場所 当館第一常設展示室の一部

***ギャラリートーク**

◇第一回 七月一六日(土) 一〇時三〇分

◇第二回 七月一八日(月) 一三時三〇分

◇第三回 七月三〇日(土) 一三時三〇分

◇第四回 八月二一日(日) 一三時三〇分

◇第五回 九月一七日(土) 一三時三〇分

***体験博物館**

◇「近江国印をつくる」

七月二四日(日) 一〇時～一三時三〇分

参加費：五〇〇円

場所 博物館内調査整理室

(財)滋賀県文化財保護協会 調査整理課通信

要申込(六月二四日から) 各先着三〇名
◇「和紙をつくる」
八月二一日(日) 一三時三〇分

参加費：五〇〇円

場所：多目的広場

要申込(七月二一日から) 先着三〇名

緑釉陶器の窯跡調査など

「あの遺跡は今！パート13」で速報

平安時代中期の緑釉陶器の窯跡が、甲賀市水口町春日の春日北遺跡で発掘調査されました。緑釉陶器は素地に緑色の釉薬をかけて二度焼きした焼き物で、当時の高級品として、平安京の貴族や地方の役人、寺院などで多く使われ、庶民が日常的に用いることはありませんでした。緑釉陶器窯五基と灰釉陶器窯一基が一〇世紀前半から後半にかけて順番に操業しています。出土品の多くは素地で、ひび割れや歪みのため廃棄された不良品です。このほか、焼台・三叉トチンなどの窯道具が出土しています。これらの出土品は七月二四日(日)に実施します整理室一般公開「あの遺跡は今！パート13」で整理調査成果をいち早く報告します。当日はその他に、高島市上御殿遺跡の鉄鉾石、大津市榎木原遺跡の瓦などの出土遺物も公開します。



春日北遺跡の窯道具(三叉トチン・焼台など)

収蔵資料紹介

法然上人像 一幅

滋賀県近江八幡市 浄厳院じょうごんいん所蔵
紙本淡彩 二・三・三×四四・五

平成二三年は、わが国浄土宗の開祖である法然上人（一一三三～一二二二）の八百回忌の年に当たります。浄土宗寺院では盛大に大遠忌の法要が執り行われ、また、各地の博物館でも上人や浄土教に関する展覧会が開催されるなど、遠忌の年ならではのいつてよいでしょう。

さて、実は当館にも法然上人の肖像画が寄託されています。近江の浄土宗寺院を代表する名利として知られる浄厳院に伝来した「法然上人月之御影」と呼ばれる小さな紙本淡彩の軸がそれです。昨年夏のテーマ展で初公開しましたので、御覧になった方もおられるかも知れませんが、御遠忌に因んで、本紙でも改めて紹介しましょう。

本図は、頭頂部の平らかな上人が、左斜めを向いて首を前傾させ、胸前にて数珠をつまぐる姿に現わされているものです。この形姿は上人画像の定形と言えますが、一方、瑞雲上の半月形に坐すという画面構成は珍しく、実に異



彩を放っています。さらに興味深いのは傍らに置かれた水瓶です。水瓶は仏具の一種ですが、本図の場合、上人が勢至菩薩せいしぼさつの化身であること示さんがため、同尊の標識である水瓶を描き添えたものと考えられるでしょう。上人が乗る月もまた、当時、月天子として信仰された勢至との関係から描かれたと考えるべきです。

なお、本図には裏書があり、天文七年（二五三八）、信楽院観音祐真が金勝寺浄厳坊に寄進したという伝来の経緯が分かります。制作時期は、作風から見て室町時代と考えられます。いずれにせよ、県内では数少ない中世の法然上人画像であり、異色の画像構成を示す貴重な作例と言えるでしょう。

（山下 立）

滋賀県教育委員会文化財保護課 城郭通信

連続講座

「近江の城郭」を開催します。

昨年度に引き続き、今年も連続講座「近江の城郭」を開催します。昨年度は「六角VS織田」をテーマに近江守護六角氏関係の城跡を取り上げて来ましたが、今年は、「歴史の舞台となった城」と題し、戦国時代に起こった様々な出来事の舞台となった城をテーマに取り上げます。

講座は昨年同様、室内講義と現地見学をセットで行います。第一回目は、七月三〇日（土）、甲賀市にある和田城跡をテーマに行います。和田城は、室町幕府十三代將軍足利義輝が三好・松永勢に暗殺された時、同時に襲撃を受けた、後の室町幕府十五代將軍足利義昭を救い出した和田惟政の居城です。義昭はそこにはばらくとどまりますが、その時の居所が今も公方屋敷跡として残っています。

今年の連続講座は六回を予定しており、第二回は八月二七日（土）賤ヶ岳城跡（長浜市）、第三回は九月二四日（土）虎御前山城跡（長浜市）、第四回は来年一月二八日（土）横山城跡（長浜市）、第五回は二月二五日（土）肥田城跡（彦根市）、第六回は三月一七日（土）宇佐山城跡（大津市）で開催します。詳細については、「淡海の城」友の会のホームページ（<http://www.geocities.jp/nobunaga999castle/index.html>）を御覧いただくか、滋賀県文化財保護課城郭調査事務所（電話〇七四八―四六一―四四）までお問い合わせください。

博物館からのお知らせ

滋賀県立安土城考古博物館では、今年度より新たに「発掘調査速報展示」と「パネル展示 シリーズ『近江の名城』」の2つの展示会を開催することとなりました。

以下にその概要をご案内いたします。

発掘調査速報展示

- ・財団法人滋賀県文化財保護協会が実施した発掘調査成果を速報に展示します。
- ・展示中にギャラリートークと、映像による報告会（1時間程度）を行います。
- ・展示場所は、第1常設展示室の一部を使用します。
- ・展示期間は、1ヶ月程度を予定しています。
- ・出土した遺物と、検出した遺構の写真パネルを中心に、発掘調査成果をお知らせします。



パネル展示 シリーズ「近江の名城」

滋賀県は、狭い県土の中に約1,300ヶ所もの城郭跡がひしめく、全国一番のお城の国です。しかし、安土城、彦根城、小谷城など全国的に知られた城郭がある一方、地元の方々に守られてきた名城もたくさんあります。

安土城考古博物館では、これら近江の名城に光を当て、少しでも多くの方々に近江の城郭、そして歴史文化を楽しんでいただくため、パネル展示 シリーズ「近江の名城」を開催することとしました。

この展示は、平成18年に滋賀県教育委員会が選定した「近江のお城46選」選定城郭を中心に写真パネルと解説により紹介するものです。

展示場所は第2常設展示室の一部を使用します。

（取り上げる城郭）

- ① 大河ドラマ「江」関連城郭
姉川合戦関連城郭、賤ヶ岳合戦城郭を順次取り上げる予定です。
- ② 近江の名城「近江のお城46選」
甲賀郡中惣の城郭、高島市の城郭、元亀争乱城郭等を順次取り上げる予定です。



博物館の主な催し（『大国近江の壮麗な国府』展関連行事以外）

7月24日（日）埋蔵文化財整理調査成果中間報告会「あの遺跡は今！パート13」【無料】

「夏休み自由研究相談」【要予約・無料】

8月14日（日）ミュージアムコンサート 13：30～【無料】

8月15日（月）体験博物館「勾玉をつくろう」10：00～・13：30～【要予約・参加費】

8月25日（木）・26日（金）子ども考古学教室 各日とも13：30～【要予約・参加費】

9月 4日（日）名作映画鑑賞会【要予約・無料】

9月11日（日）博物館講座「大津市宇佐山古墳群の発掘調査」13：30～【無料】

講師：中村智孝（滋賀県文化財保護協会）

9月18日（日）体験博物館「忍者になってみよう」13：30～【要予約・参加費】

9月23日（祝）野外コンサート 13：30～【無料】

※予約の必要なものは、1ヶ月前から受け付けます。

おおてみち 第76号

平成23年（2011年）7月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦6678 TEL0748-46-2424
E-mail:gakugei@azuchi-museum.or.jp URL http://www.azuchi-museum.or.jp